

名古屋市博物館プレオープン記念特別展、開催！



今秋、名古屋市博物館はプレオープン記念として2本の特別展を同時開催します。

ひとつは名古屋で育った外交官・杉原千畝がユダヤ難民に「命のビザ」を発給した地であるリトアニア共和国の歴史と文化を紹介する展覧会、もうひとつは豊臣秀吉の生涯をたどりながら、ふるさとである名古屋を中心とした尾張との関わりを紹介する展覧会です。1枚の観覧券でどちらもご覧いただけます。令和10年(2028)4月15日(土)予定のグランドオープンに先立ち、期間限定で開館する機会となります。お見逃しなく！



おもちゃのウサギ 2011年
リトアニア国立博物館蔵

特別展 リトアニア—バルトの森に響く歌— Lithuania, Songs Echo in the Baltic Forests

特別展 名古屋には秀吉がおるでよ！—秀吉と尾張の歴史— Toyotomi Hideyoshi: The Unifier and the History of Owari

- 会期 令和8年(2026)9月5日(土)～11月1日(日)
※11月2日(月)以降はリニューアル工事のため再度休館します。
- 観覧料 一般1,400円(1,200円) 高大生1,100円(900円)
中学生以下無料
- ※()内は前売および20名以上の団体料金。
※1枚の観覧券でどちらの展覧会もご覧いただけます。



豊国祭礼図屏風(部分)
江戸時代前期
名古屋市博物館蔵

特別展 リトアニア—バルトの森に響く歌— Lithuania, Songs Echo in the Baltic Forests

【展覧会概要】

バルト海沿岸に位置するリトアニア共和国は、名古屋で少年時代をすごした外交官・杉原千畝^{すぎはらちうね}が、ユダヤ難民に「命のビザ」を発給した地です。杉原が結んだ縁に導かれ、当館はリトアニア国立博物館と交流を重ね、昨年8月に友好館協定を結びました。同館の全面的な協力のもと、リトアニア文化の根底にある「森」と「歌」をテーマに、色彩豊かな民族衣装や神秘的な意匠の工芸品などを通して、同国の歴史と文化を紹介します。自然を慈しみ、歌を力に変えてきた人びとの、豊かな文化に触れてみませんか。



おもちゃのヘラジカ
2011年 リトアニア国立博物館蔵

ズーキヤ地方の民族衣装 21世紀 リトアニア国立博物館蔵

みどころ

1. 日本初の本格的な展覧会

ほぼ全点、日本初公開！森と暮らす日常生活、歌と踊りに彩られた祝祭、苦難の末に自由と独立を勝ち取った歴史という3つの視点から、リトアニアの歴史と文化を、日本で初めて本格的に紹介します。

「歌と踊りの祭典」に捧げられる旗 1924年
リトアニア国立博物館蔵



2. リトアニアの文化を体感

リトアニアの伝統楽器「カンクレス」に触れたり、民族衣装を試着したりすることができます。わら細工「ソダス」を作るワークショップやリトアニア料理教室など、五感を通してリトアニア文化を体験するイベントを開催します。



伝統楽器 カンクレス 20世紀
リトアニア国立博物館蔵

3. 杉原千畝の功績にふれる

杉原千畝は愛知県立第五中学校（現瑞陵高校、瑞穂区）の出身です。杉原が赴任した旧在リトアニア日本領事館（カウナス市）を保存する杉原記念館の協力のもと、ビザに捺された領事館印を再現したスタンプを捺す体験コーナーなどを設けます。

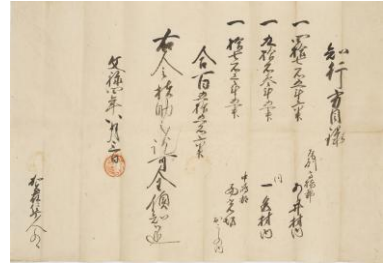


特別展 名古屋には秀吉がおるでよ！—秀吉と尾張の歴史— Toyotomi Hideyoshi: The Unifier and the History of Owari

【展覧会概要】

一代で天下人となった豊臣秀吉。その波乱に満ちた人生は、広く知られています。秀吉の出生地は現在の名古屋市中村区と言われますが、尾張と秀吉との関係はそれだけではありません。彼は若くして故郷を離れますが、尾張を政治的に重要視し、特に天下統一後から関係を深めていきました。名古屋を中心とする尾張に残る伝説や伝承地は、そのつながりを今に伝えています。

本展では、これまであまり注目されてこなかったふるさと尾張との関係を軸に、秀吉の生涯をたどります。



豊臣秀吉朱印状
文禄4年（1595）8月3日付 個人蔵

ココ見てってちょう！3つのみどころ

1. 秀吉と名古屋の関係を貴重な資料から探る

豊臣秀吉と、彼のふるさとである尾張・名古屋の関わりに着目した、これまでにない展覧会です。また秀吉のみならず、豊臣家一族に伝わった貴重な資料を通して一族の動向についてもお紹介。ドラマで話題の秀長もおるでよ！



位記 天正13年（1585）7月11日付
豊臣家文書 重要文化財 名古屋市博物館蔵



羽柴秀長禁制
天正12年（1584）5月4日付
犬山市・寂光院蔵

2. 体験してみよう！

本物の火縄銃、レプリカの天正大判にふれることができる体験展示や、戦国時代をテーマとしたカードゲームをご用意しました。会期中いつでもご体験いただけます。

3. 語り継がれる秀吉

秀吉にゆかりのある地や伝説は、現在でも名古屋市内や周辺に数多く残されています。それらの伝承地や、名古屋市秀吉清正記念館をはじめとする関連施設を紹介し、歴史を身近に感じていただくきっかけとします。

太閤花見図屏風（部分） 桃山時代 名古屋市博物館蔵



各イベントによって申込方法が異なります。

事前申込は各LoGoフォームもしくはお電話（052-853-2655）でお申込みください。

定員を設けているイベントは、定員に達し次第募集を終了します。キャンセル待ちはありません。

イベントの詳細については、名古屋市博物館公式サイト（<https://www.museum.city.nagoya.jp>）をご覧ください
ただか、お電話でお問い合わせください。

手話通訳・要約筆記など特別なサポートを必要とする方は、当日の2週間前までに名古屋市博物館までご相談ください。

話

○はくぶつかん講座（聴講無料、要事前申込・先着順）

担当学芸員が展覧会の内容について解説します。

開催日および会場、申込期間がそれぞれ異なりますのでご注意ください。

・「天下人・豊臣秀吉と尾張」

日 時 | 9月11日（金）10時～11時30分

講 師 | 羽柴重弥（当館学芸員）

会 場 | 中村文化小劇場（中村区中村町字茶ノ木25 中村公園文化プラザ3階）

定 員 | 300名（要事前申込、先着順）

申込期間 | 7月1日（水）～9月9日（水）

・「リトアニア—杉原千畝ゆかりの地を訪ねて—」

日 時 | 9月17日（木）10時～11時30分

講 師 | 木村慎平（当館学芸員）

会 場 | 瑞穂文化小劇場（瑞穂区豊岡通3-29）

定 員 | 340名（要事前申込、先着順）

申込期間 | 7月1日（水）～9月15日（火）



<https://logoform.jp/f/LZdxv>



<https://logoform.jp/f/YwxT4>

○ちょこっと解説「名古屋には秀吉がおるでよ！」（聴講無料、申込不要・当日受付）

担当学芸員が「名古屋には秀吉がおるでよ！」の見どころを“ちょこっと”お話します。

日 時 | 9月10日（木）、9月12日（土） 各日2回

①10時30分～10時45分 ②14時～14時15分

講 師 | 当館学芸員

会 場 | 名古屋市博物館 ワークショップ棟

定 員 | 各回30名（申込不要、先着順）

作

○ワークショップ「ソダスを作ってみよう！」（要参加料、要事前申込・先着順）

リトアニアの伝統的なわら細工「ソダス」作りにチャレンジします。

日 時 | 9月5日（土）

（1）入門編（10時～12時） （2）こだわり編（14時～16時）

講 師 | 本多桃子氏（リトアニア共和国農業省認定ソダス作家）

会 場 | 名古屋市博物館 ワークショップ棟

定 員 | 各回16名（要事前申込、先着順）

申込期間 | 7月1日（水）～8月5日（水）

参 加 料 | （1）入門編 5,500円 （2）こだわり編 6,600円

いずれもお土産付

※小学生以下の参加は保護者の同伴が必要です。

会場スペースの関係から、保護者は1名までとさせていただきます。



<https://logoform.jp/f/CqPtW>

○こどもワークショップ「太閤検地に挑戦！」（要事前申込・先着順）

農民や検地奉行になりきり、お米の計測などを体験し検地のしくみを楽しく学びます。

日 時 | 9月20日（日）

（1）10時30分～11時30分 （2）13時30分～14時30分

講 師 | 当館学芸員

会 場 | 名古屋市博物館 ワークショップ棟

対 象 | 小学校1年生から6年生

※3年生以下は保護者の付き添いをお願いします。

定 員 | 各回10名（要事前申込、先着順）

申込期間 | 7月1日（水）～8月5日（水）

参 加 料 | 無料



<https://logoform.jp/f/zk7Ux>

体験イベントもりだくさん！

- *会期中いつでもご体験いただけます。（博物館パフォーマーは毎土日のみ）。
 - *このほか、リトアニア料理教室やはくぶつかん競技大会など計画中。
- 詳細決定次第、公式サイト等でお知らせします。



画像はイメージです。

捺 聞 着 触 遊 芸

「命のビザ」の印

ビザに捺された領事館印を再現したスタンプを捺す体験コーナー。
実際に捺して千畝の思いを考えてみよう。協力：杉原記念館（リトアニア）

どんな音？

リトアニアの伝統楽器、カンクレス。悪や死から身を守るといわれている、その音色を聞いてみよう。

似合うかな？

リトアニアの伝統的な衣服や帯を試着できます。多彩な伝統柄のデザインにご注目！

火縄銃の仕組みは？

秀吉の時代に武器として普及した火縄銃。本物に触って重さや仕組みを学ぼう。

世界最大級の金貨とは？

天正大判（レプリカ）の大きさを体感してみよう。



天正大判 慶長13年(1608)~17年(1612)名古屋市博物館蔵
本資料のレプリカをご体験いただけます。

対決！

信長、家康、秀吉になって点を取り合う、カードゲーム。
あなたは誰をえらぶ？

協力：MARO（名古屋市立大学博物館サポーター）



博物館パフォーマー出沒！

会期中毎土日には、博物館パフォーマーが博物館のあちらこちらに出沒！歴史をおもしろく解説します。

講談師 旭堂鱗林さん

歩

秀吉の生まれた地をめぐる

中村区に残る、秀吉ゆかりの史跡や関連施設を巡ってみよう。当館から約45分、市営地下鉄桜通線「桜山」から名古屋駅乗り換えで市営地下鉄東山線「中村公園」下車。駅を降りたら、街のシンボル大鳥居がみえますよ。



名古屋市秀吉清正記念館

〒453-0053

名古屋区中村区中村町字茶の木25
中村公園文化プラザ2階

10月3日（土）～11月15日（日）には
特別陳列「ここ中村で60年 秀吉清正記念館の
コレクション」を開催しています（入館無料）。

近隣には豊國神社や豊臣ミュージアムがあります。

基本情報

■ 展覧会名称

特別展 リトアニアバルトの森に響く歌一

Lithuania, Songs Echo in the Baltic Forests

特別展 名古屋には秀吉がおるでよ！一秀吉と尾張の歴史一

Toyotomi Hideyoshi: The Unifier and the History of Owari

■ 会 期 2026年9月5日（土）～11月1日（日）

■ 休 館 日 毎週月曜日（祝日の場合は直後の平日）、毎月第4火曜日（祝日を除く）

※9/7[月]、9/14[月]、9/24[木]、9/28[月]、10/5[月]、10/13[火]、10/19[月]、10/26[月]、10/27[火]

■ 開 館 時 間 9時30分～17時（入場は16時30分まで）

■ 会 場 名古屋市博物館 1階 特別展示室

■ 主 催 名古屋市博物館、リトアニア国立博物館、中日新聞社、東海テレビ放送、CBCテレビ、テレビ愛知、NHK名古屋放送局、NHKエンタープライズ中部

■ 協 力 駐日リトアニア共和国大使館、杉原記念館（リトアニア）、杉原千畝記念館（八百津町）

■ 観 覧 料 金 一般1,400円（1,200円） 高大生1,100円（900円） 中学生以下無料

※本観覧券で特別展「リトアニアバルトの森に響く歌一」と特別展「名古屋には秀吉がおるでよ！一秀吉と尾張の歴史一」の2つの展覧会がご覧いただけます。

※（ ）内は前売および20名以上の団体料金。

※高大生・中学生は学生証等を博物館窓口でご提示ください。

※前売券は、6月1日（月）から9月4日（金）までBoo-Woo（ブーウー）チケット、チケットぴあ（Pコード=687-469）、ローソンチケット（Lコード=43288）、セブンチケット（セブンコード=115-517）、イープラス、名古屋市博物館仮事務所、名古屋市蓬左文庫および名古屋市秀吉清正記念館等で販売します。

※会期中は当日料金にて名古屋市博物館で販売します。

※名古屋市交通局の一日乗車券・ドニチエコきっぷ・地下鉄全線24時間券を利用して来館された方は当日料金より100円割引。

※障害のある方は手帳（ミライロID可）、難病患者の方は受給者証の提示により、本人と介護者2名まで当日料金の半額となりますので博物館窓口でご提示ください。

※障害者等割引観覧券について、会期前はBoo-Woo（ブーウー）チケットおよびローソンチケット、会期中は名古屋市博物館で販売します。

※各種割引は重複してご利用いただくことはできません。

展示品の写真撮影は可能ですが（一部の作品を除く）、フラッシュや三脚、自撮り棒の使用、動画撮影はご遠慮ください。また他のお客様が写り込まないようにご配慮願います。

会場内は資料保存のため室温が低く設定されています。

調節のしやすい服装でのご来場をおすすめします。

■ 会場情報

名古屋市博物館 〒467-0806名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1

電話052-853-2655 FAX 052-853-3636

<https://www.museum.city.nagoya.jp>

名古屋駅から地下鉄桜通線で17分、「桜山」下車、4番出口から南へ150m、エレベーターをご利用の方は3番出口から南へ400m

最新情報はこちらから。



名古屋市博物館公式サイト

〈報道関係者各位〉

本展に関わる記事校正は、確認のためにお時間をいただく場合がございます。期間・回数に余裕をもってお申込みください。

紹介文に下記原稿を変更なく使用される場合は、その限りではありません。

【共通】

・50字

プレオープン記念としてリトアニア共和国の文化と歴史、豊臣秀吉と名古屋の関わりを紹介する、特別展2本を同時開催。(55字)

・150字

プレオープン記念として2本の特別展を同時開催します。ひとつはバルト海沿岸に位置するリトアニア共和国の歴史と文化を紹介する展覧会、もうひとつは豊臣秀吉の生涯をたどりながら、ふるさとである尾張・名古屋との関わりを紹介する展覧会です。1枚の観覧券でどちらもご覧いただけます。お見逃しなく！(150字)

・200字

プレオープン記念として2本の特別展を同時開催。ひとつは名古屋で育った外交官・杉原千畝がユダヤ難民に「命のビザ」を発給した地であるリトアニア共和国の歴史と文化を紹介する展覧会、もうひとつは豊臣秀吉の生涯をたどりながら、ふるさとである尾張・名古屋との関わりを紹介する展覧会です。1枚の観覧券でどちらもご覧いただけます。令和10年(2028)のグランドオープンに先立ち、期間限定で開催する機会です。お見逃しなく！(198字)

【リトアニア展単独】

・150字

バルト海沿岸に位置するリトアニア共和国は、名古屋で育った外交官・杉原千畝が、ユダヤ人に「命のビザ」を発給した地です。同国立博物館が所蔵する色鮮やかな民族衣装や神秘的な意匠の工芸品などを通して、その歴史と文化を紹介します。自然を慈しみ、歌を愛する人びとの、豊かな文化に触れてみませんか。(144字)

・200字

バルト海沿岸に位置するリトアニア共和国は、名古屋で育った外交官・杉原千畝が、ユダヤ難民に「命のビザ」を発給した地です。その縁に導かれて、当館は昨年8月、リトアニア国立博物館と友好館協定を結びました。本展では、同館の全面的な協力のもと、色彩豊かな民族衣装や、神秘的な意匠の工芸品などを通して、同国の歴史と文化を紹介します。自然を慈しみ、歌を愛する人びとの、豊かな文化に触れてみませんか。(192字)

【秀吉展単独】

・150字

現在の名古屋市中村区で生まれた天下人・豊臣秀吉。彼は若くして故郷を離れますが、尾張を政治的に重要視し、生涯関わりをもち続けました。本展覧会では、これまであまり注目されてこなかった尾張との関係を軸に、秀吉の生涯をたどります。秀吉がこの地域とどのように関わったのか、選りすぐりの館蔵品を中心に紹介します。(150字)

・200字

現在の名古屋市中村区で生まれた天下人・豊臣秀吉。彼は尾張(現愛知県西部)を離れてからもこの地を政治的に重要視し、生涯を通じて関わりをもち続けました。尾張には今もゆかりの地や伝説が残り、その関係の深さを伝えていきます。本展覧会では、これまであまり注目されてこなかった尾張との関係を軸に、秀吉の生涯をたどります。秀吉がこの地域とどのように関わったのか、選りすぐりの館蔵品を中心とした資料から紹介します。(198字)



琥珀のペンダント
3~4世紀 リトアニア国立博物館蔵

この他、取材依頼を受け付けています。8ページをご覧ください。

【画像使用にあたっての注意】

広報用画像データ（jpg）の使用および読者向けチケットについては右のフォームからお申込みください。

画像は直接ダウンロードできますが、基本情報と画像の確認のため、掲載前に必ず原稿を確認させていただきます。



名古屋市博物館
広報用画像申込

<https://logoform.jp/f/7UKbC>

※広報用画像の使用は、特別展「リトアニアバルトの森に響く歌ー」および特別展「名古屋には秀吉がおるでよ！ー秀吉と尾張の歴史ー」を紹介する場合に限りです。展覧会終了後の広報画像の使用、また二次利用は固くお断りします。

※広報用画像を紹介する場合は、キャプションとして下記のとおり作品名・所蔵先を必ず記載してください。また展覧会情報（展覧会名・会期・会場）も併せてご記載願います。

※広報用画像は全図で使用してください。トリミング、変形、部分使用、文字乗せはできません。

※掲載記事につきましては、基本情報確認のため、原稿あるいは校正刷の段階で下記お問合せ先までお送りください。記事校正のご返答にお時間をいただく場合がございます。期間に余裕を持ってご提出ください。

※ご記入いただきました個人情報、名古屋市博物館より本展覧会に関する情報発信や連絡などが必要な場合、および今後の催事のご案内に使用します。許可なく第三者に開示することはありません。

【読者向けチケット申し込み】

画像を1点以上掲載し本展をご紹介いただける場合、読者向けチケット（5組10名分まで）を提供します。

原則として掲載紙（Webの場合は掲載アドレス通知のメール）が広報担当に到着し、確認してから発送いたします。

①メインビジュアル
*クレジット不要



②ズーキヤ地方の民族衣装
21世紀 リトアニア国立博物館蔵



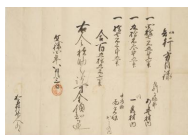
③おもちゃのヘラジカ
2011年 リトアニア国立博物館蔵



④リトアニアの首都ヴィリニユス市の旧市街
Vilnius, old town, rooftops
©Laimonas Ciūnys_Lithuania Travel



⑤豊臣秀吉朱印状
文禄4年（1595）8月3日付 個人蔵



⑦天正大判 慶長13年（1608）～17年（1612）
名古屋市博物館蔵



⑧太閤花見図屏風（左隻） 桃山時代 名古屋市博物館蔵



⑥位記 天正13年（1585）7月11日付 豊臣家文書
重要文化財 名古屋市博物館蔵



【取材依頼・お問合せ先】

取材依頼については右のお問合せフォームからご連絡ください。

名古屋市博物館 学芸課広報担当 児玉・亀井・津田

〒467-0806 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1

TEL.052-853-2655 FAX.052-853-8400

E-mail ncm-gaku@juno.ocn.ne.jp

公式サイト <https://www.museum.city.nagoya.jp>



名古屋市博物館
お問合せフォーム